2020年第21週(5月18日~5月24日)

広島市感染症対策協議会・広島市感染症情報センター

■コメント

1. 新型コロナウイルス感染症

5月4日以降、広島市では新たな患者の発生は報告されていませんが、新型コロナウイルス感染症を想定した 「新しい生活様式」を心がけ、引き続き、感染予防、拡大防止対策を徹底しましょう。

【新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」の一例】

- ~ 日常生活を営む上での基本的生活様式 ~
 - ・まめに手洗い・手指消毒をしましょう。
 - ・咳エチケットを徹底しましょう。
 - ·こまめに換気をしましょう。
 - 身体的距離を確保しましょう。
 - ・「3密(密集、密接、密閉)」を回避しましょう。
 - 発熱又は風邪の症状がある場合はムリせず自宅で療養しましょう。

(参考)

- ・厚生労働省ホームページ 新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」を公表しました https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_newlifestyle.html
- 2. 重症熱性血小板減少症候群(SFTS) 今年初めて1件報告されました。(次頁参照)

■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均〈注〉過去5年間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	発生記号
フィルン	インフルエンザ	ı	-	0.12		小児			0.04	0.52	
	咽頭結膜熱	1	0.04	0.81		科	RSウイルス 感染症	I	ı	0.19	
	A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	11	0.48	3.55		眼	急性出血性 結膜炎	ı	ı	0.03	
	感染性胃腸炎	31	1.35	6.88	$ \leftarrow $	科	流行性角結膜炎	1	ı	0.87	
小児	水痘	5	0.22	0.56			細菌性髄膜炎	1	ı	ı	
科	手足口病	2	0.09	1.69			無菌性髄膜炎	ı	-	-	
	伝染性紅斑	5	0.22	0.23		基 幹	マイコプラズマ 肺炎	ı	-	0.08	
	突発性発しん	10	0.43	0.56			クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	-	-	0.57			感染性胃腸炎 <u>(ロタウイルス)</u>	-	-	0.37	

急増減	1		前週と比較しておおむね 1:2以上の増減
増減	\Diamond	\bigcirc	前週と比較しておおむね 1:1.5~2の増減
微増減	$\langle \rangle$	\bigcirc	前週と比較しておおむね 1:1.1~1.5の増減
横ばい		\rightarrow	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を 記載していません。

インフルエンザ定点数 (小児科定点を含む)	36
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注)過去5年間の同時期平均 (定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

-					
	類型	疾患名	報告数	累計	備考
	2	結核	6	52	男性(40歳代)・1人、女性(40歳代)・2人、
					男性(50歳代)・1人、女性(70歳代)・1人、
					女性(90歳代)・1人
	4	重症熱性血小板減少症候群	1	1	男性(60歳代)
	5	梅毒	1	29	女性(20歳代)

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

			インフルエンザ	咽頭結膜熱	球菌咽頭炎A群溶血性レンサ	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	感染症 おいりょう	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ	クラミジア肺炎	(ロタウイルス)感染性胃腸炎
		第17週	-	6	16	40	3	1	3	4	_	1	2	1	3	-	-	-	-	1
報	広島市	第18週	_	5	17	29	3	-	7	4	-	2	-	_	1	-	-	-	-	1
告		第19週	_	1	9	22	1	-	4	4	1	_	-	_	-	-	-	-	-	-
数		第20週	_	2	6	19	1	-	3	7	-	_	-	_	2	-	-	-	-	-
		第21週	_	1	11	31	5	2	5	10	_	1	-	_	-	-	_	-	-	_
		第17週	_	0.26	0.70	1.74	0.13	0.04	0.13	0.17	-	0.04	0.09	0.13	0.38	-	-	-	-	0.14
定		第18週	_	0.22	0.74	1.26	0.13	-	0.30	0.17	-	0.09	-	-	0.13	-	-	-	-	0.14
	広島市	第19週	_	0.04	0.39	0.96	0.04	-	0.17	0.17	0.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-
当		第20週	_	0.09	0.26	0.83	0.04	-	0.13	0.30	-	-	-	-	0.25	-	-	-	-	-
た		第21週	_	0.04	0.48	1.35	0.22	0.09	0.22	0.43	-	0.04	-	_	-	-	-	-	-	
IJ	全国	第19週	_	0.08	0.37	0.73	0.07	0.04	0.05	0.24	0.01	0.03	0.01	-	0.11	0.01	0.01	0.08	-	0.01
	포ഥ	第20週	_	0.09	0.57	1.10	0.09	0.06	0.06	0.35	0.01	0.04	0.01	-	0.14	0.02	0.01	0.11	-	0.01

■新たに判明した病原体検出状況

(検査:広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
流行性角結膜炎	結膜炎 結膜充血 眼脂	46	男	2020/04/02	結膜擦過物	アデノウイルス37型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

【参考】ダニ類が媒介する感染症に注意しましょう!

-重症熱性血小板減少症候群(SFTS)/つつが虫病/日本紅斑熱-

重症熱性血小板減少症候群(SFTS)は、SFTSウイルスを保有するマダニに咬まれることで感染します。潜伏期間は5日~2週間程度で、主な症状は発熱、消化器症状(食欲低下、嘔気、嘔吐、下痢、腹痛)です。患者の多くは、西日本を中心に、マダニの活動が盛んな春から秋にかけて発生しています。SFTSの他、つつが虫病や日本紅斑熱も、ダニ類が媒介する感染症です。これらの感染症を予防するため、次のような対策をとることが重要です。

【ダニに咬まれないためのポイント】

- ・山や草むらに入るときは、長袖・長ズボン、足を完全に覆う靴、帽子、手袋を着用するなど、肌の露出を少なくする。
- 屋外活動後は入浴し、ダニが付着していないかチェックする。

【ダニに咬まれたときの対処法】

- ・ダニが吸着していた場合は、無理に引き抜こうとせず、皮膚科を受診し、除去してもらう。
- 発熱等の症状が出た場合は、早めに医療機関を受診する。

【参考】重症熱性血小板減少症候群(SFTS)に関するQ&A(厚生労働省)

https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/sfts_qa.html

* 新型コロナウイルス感染症の発生状況について

第21週(5月18日~5月24日)は報告がありませんでした。

最新の発生状況、相談窓口等については、広島市ホームページ「新型コロナウイルス感染症に関する情報(https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/korona/)」からご確認ください。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。 なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/infectious-disease/

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商エセンター四丁目 1 番 2 号 TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city. hiroshima. lg. jp